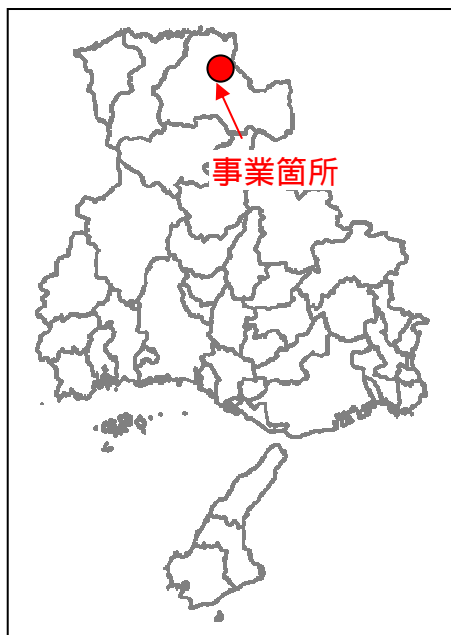


投資事業評価調書（新規）

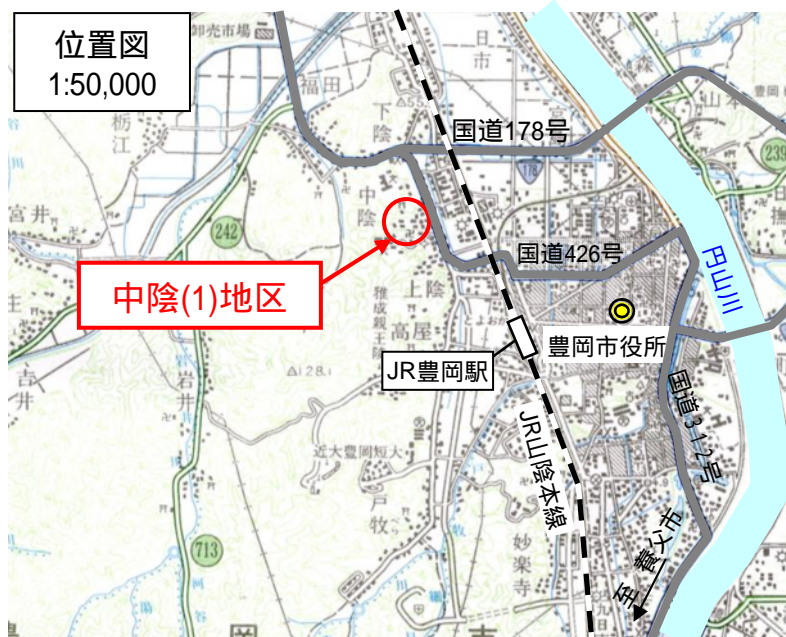
部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 (木本 和彦)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5 億円
		急傾斜地崩壊対策 <small>なかかけ</small> 中陰(1)地区	豊岡市 <small>なかかけ</small> 中陰	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市中陰				H24	H26
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家、市道があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 858m (負担割合 国 : 45.0% 県 : 45.0% 地元 : 10.0%)		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ JR山陰本線豊岡駅より北西約1kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 ・ 斜面は荒廃しており、危険な状態。 			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ 延長858m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 ・ <u>保全対象は人家45戸、市道450m。</u> 			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の主旨について、十分な理解を得られ、地元の協力体制も整っていることから工事着手が見込め、円滑な事業の執行が可能である。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面の改変を最小限にとどめ、既存斜面の緑を残し、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全対象には、人家45戸があり、斜面が荒廃していることから、早期着手に対する地元要望が強い。 <p>以上より、H24年度に事業着手し、早急な対策が必要である。</p>			



事業箇所

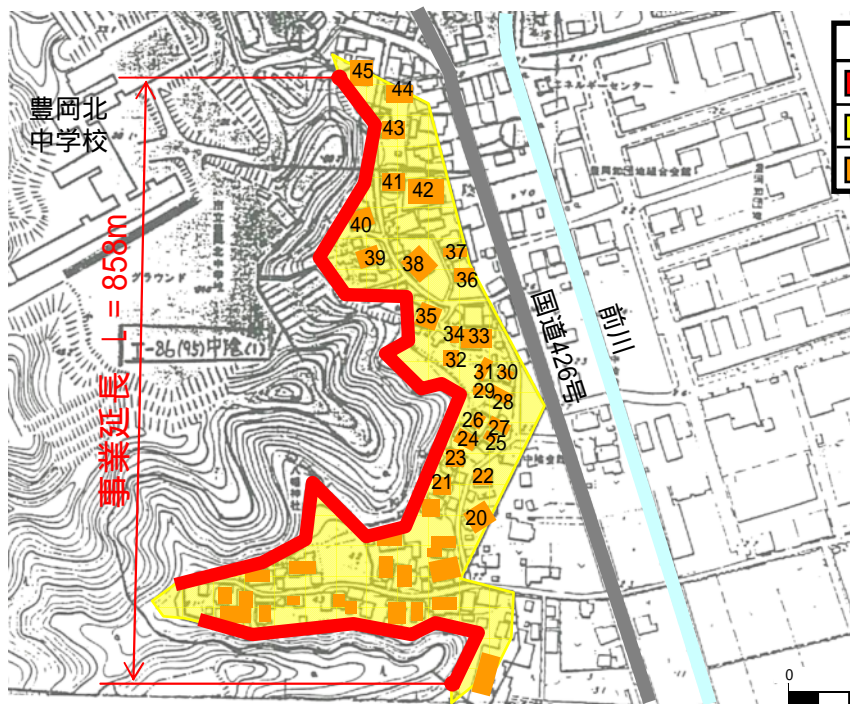
位置図
1:50,000



中陰(1)地区

JR豊岡駅

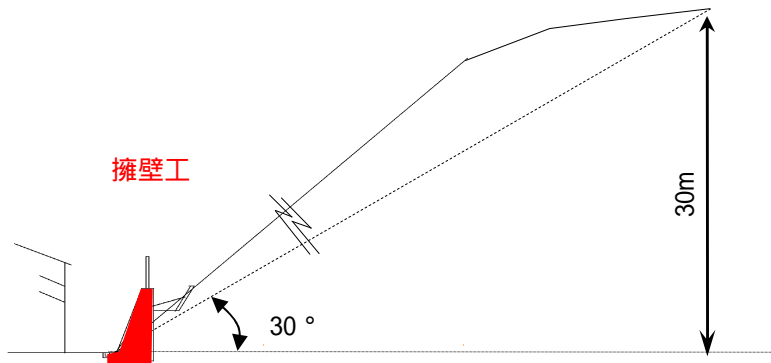
豊岡市役所



凡例

	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等

横断図 S = 1:500



箇所名

中陰(1)地区